

小山市立福良小学校 校歌

吉田 寿夫 作詞
矢口久四郎 作曲

1 雲居に仰ぐ 筑波嶺の
影を映して とこしえに
鬼怒の流れの すめるごと
われらが心 みがきては
まことの道に 進まなん



2 その名もゆかし 白旗の
みたてによりて 日の御子が
守らせ給いし 絹の里
遠きみおやの いきおしを
たたえまつりて 励まなん



3 緑いや濃き 高椅の
社の森を 望みつつ
福良の里の 学舎に
集う四百の わが友よ
学びの道に いそしまん



福良小学校の校歌は、今から86年前の1930年(昭和5年)10月に作られました。戦前の格調高い七五調の歌詞は、当時の本校教頭であった吉田寿夫先生(のちに本校第15代校長)が作詞し、音楽教育に造詣の深かった当時の本校第11代校長であった矢口久四郎先生が作曲したものです。